

介護関係の事業主の皆様へ

「魅力ある求人」となるよう求人の記載を見直してみませんか？

○求職者からの声を集めてみました！

運転が苦手だけど、送迎業務ができないと応募は難しいだろうか？大きい車を運転するのは、抵抗がある・・・。

体力に少し自信が無いけど、新しい介護設備の導入状況は？

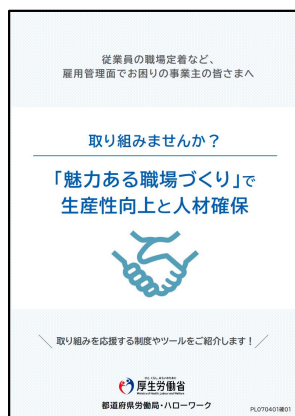
必要なPCスキルに「パソコンの基本操作」とあるが、どの程度使えたら良いのかなあ？

介護施設の業務体制は？

資格、経験はあるが、ブランクがあるけど、介護関係の職業訓練を修了したばかりだけど、大丈夫かなあ？

資格取得支援制度はありますか？

これを見ると
安心ニャン



○見直しへの『ヒント』は！

使用する車の種類等を「仕事の内容」欄記載します。（軽自動車使用など）
送迎業務が必須でなければ「送迎業務が可能な方には送迎をお願いします」と記載します。

ノーリフティング、見守りカメラ、タブレット等の導入活用状況を「仕事の内容」若しくは「特記事項」欄に記載します。

パソコンへの苦手意識が強い方もいらっしゃいます。
例えば、入力できれば良いレベルであれば、「文字入力、データ入力できれば可」など「必要なPCスキル」欄に具体的に記載します。

「利用者数〇名」「入居者数〇名」「スタッフ〇名」「1人あたりの利用者数」「夜勤は〇人体制」など具体的に記載します。

サポート体制があれば、その旨記載をします。
また、事前に職場見学が可能であれば「職場見学可能」と記載します。

資格取得支援制度があれば、その内容を記載します。
例えば「資格取得費用は全額会社負担」「資格取得に向けシフトを調整」等。

ハローワークでは、「魅力ある職場づくり」の取り組みを応援する制度やツールを紹介しています！
また、応援する制度やツールをとりまとめたリーフレットを作成しています。

また、（公財）介護労働安定センターでは、働きやすく働きがいのある職場づくりを支援しています。

求人票見直しのポイント3箇条

1 採用したい方をイメージする

未経験者も経験者も同じ求人で募集する場合、未経験者からは仕事内容が難しく感じ、経験者からは賃金下限を低く感じ、応募を控えることがあります。

もし、具体的な採用イメージがあれば、その方を意識した記載の方がマッチング率が上がります。

例1) 未経験者の採用を考えている

⇒ 極力専門用語は使用せず、わかりやすい言葉にしましょう。社の研修・教育制度や入社後のキャリアプランについても書きましょう。

「未経験の方でも基本からしっかり教えます。」といった文言を追記すると尚良いと思います。

例2) 勤めている方が辞めるため、即戦力が欲しい

⇒ 必要な経験を具体的な業務や経験年数等の基準とともに書きましょう。経験〇年以上の場合基本給〇万円〜などと（決まっていれば）書きましょう。

2 求人検索方法を意識する

ハローワークインターネットサービス（HWIS）で求人検索をした際に検索される（見つけてもらえる）条件になっていることが重要です

・必須でない「資格、免許」「経験」「学歴」は全て「不問」にしましょう。

⇒ 業務の都合上、資格や経験が必須の場合も当然あると思います。ただし、設定することで応募率は下がる（検索で見つけてもらえない）傾向にあるので、必須でない場合には、できるだけ「不問」とし、面接などでご判断をお願いします！

・賃金下限の設定も重要です！

⇒ 賃金額は応募の有無にははっきりと影響がでます。

求職者は、賃金上限・下限のうち、下限を重要視し、最低賃金に設定された求人は応募を敬遠される傾向にあります。

・ハローワークインターネットサービス（HWIS）で求人検索をしている求職者に求人票を見てもうには、検索結果一覧の表示内容を充実させることが重要です。

⇒ 「検索結果一覧」には求人内容の一部の情報のみ表示されます。この中でも特に「職種」「仕事の内容」が重要です。「求人票の**仕事の内容欄**は30文字×12行で、360文字掲載できますが、「検索結果一覧」では、30文字×3行の90文字のみ表示となります。このため、**最初の3行が重要です！**

3 記載内容を見直す

求職者は求人票のどこを見ている？

・求人票のどこを見ているかをアイトラッキングにより実験した結果、「仕事内容」を最も見ているようです。

⇒ できるだけ詳しく、具体的に書こう。職種名や仕事内容、必要な資格・経験などが具体的に記入されていることで、求職者が仕事をイメージしやすくなり、疑問や不安が軽減し、応募者が増えることにつながります。

正確で詳細な記入は入社後の定着率にも影響します。

ただし、「記載枠にびっしり」はかえって読まれない傾向があるのでご注意ください！

事業所の方は、普段仕事を見ているので知っていること（当たり前の内容）も具体的に記載されないと求職者には、絶対に伝わりません。

具体的な記載は、仕事のイメージがわきやすだけでなく、採用に対する、求人者の思い、熱心さ等が伝わり、迷っている方の応募への一押しとなります。